

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【公表番号】特表2010-531148(P2010-531148A)

【公表日】平成22年9月24日 (2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2010-513938(P2010-513938)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月9日 (2011.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 の核酸配列のコード領域および配列番号 1 の核酸配列のコード領域に対して少なくとも 9 8 % の配列同一性を有する核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン (F S H) の鎖をコードする核酸配列を有する核酸分子。

【請求項 2】

宿主細胞において活性なプロモータに制御される請求項 1 に記載の第 1 の核酸配列を有する組換え核酸分子。

【請求項 3】

配列番号 2 の核酸配列のコード領域および配列番号 2 の核酸配列のコード領域に対して少なくとも 8 5 % の配列同一性を有する核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン (F S H) の鎖をコードする第 2 の核酸配列をさらに有する請求項 2 に記載の組換え核酸分子。

【請求項 4】

配列番号 3 で示された核酸配列のコード領域、および配列番号 3 で示された核酸配列のコード領域と少なくとも 7 0 % の配列同一性を有する核酸配列から成る群から選択された第 2 の核酸配列をさらに含む請求項 2 に記載の組換え核酸分子。

【請求項 5】

第 2 の核酸配列が別のプロモータに制御される請求項 3 または 4 に記載の組換え核酸分子

。

【請求項 6】

第 1 の核酸配列および第 2 の核酸配列のうちの少なくとも一方がウイルスプロモータに制御される請求項 2 ～ 5 のいずれか一項に記載の組換え核酸分子。

【請求項 7】

第 1 の核酸配列が SV40 プロモータに制御されるか、または第 2 の核酸配列が CMV プロモータに制御される請求項 6 に記載の組換え核酸分子。

【請求項 8】

配列番号 7 の核酸配列を有する請求項 2 ～ 7 のいずれか一項に記載の組換え核酸分子。

【請求項 9】

請求項 3 ～ 8 のいずれか一項に記載の組換え核酸分子を含む宿主細胞。

【請求項 10】

哺乳動物細胞である請求項 9 に記載の宿主細胞。

【請求項 11】

チャイニーズハムスター卵巣 (CHO) 細胞である請求項 9 または 10 に記載の宿主細胞。

【請求項 12】

寄託番号 D S M A C C 2 8 3 3 を有する請求項 9 ～ 11 のいずれか一項に記載の宿主細胞。

【請求項 13】

請求項 2 に記載の第 1 の組換え核酸分子と、

配列番号 2 の核酸配列のコード領域、配列番号 2 の核酸配列のコード領域に対して少なくとも 85 % の配列同一性を有する核酸配列、および配列番号 3 に示される核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン (FSH) の鎖をコードする核酸配列を含む第 2 の組換え核酸分子と、を有する宿主細胞。

【請求項 14】

適切な培地中の、請求項 9 ～ 13 のいずれか一項に記載の宿主細胞を含む細胞培養物。

【請求項 15】

組換えヒト FSH を生産する方法であって、

適切な培養培地で、請求項 9 ～ 13 のいずれか一項に記載の宿主細胞を培養する工程；細胞培養上清を採取する工程からなる方法。

【請求項 16】

細胞培養上清を組換えヒト FSH から精製する工程をさらに含む請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

請求項 3 ～ 8 のいずれかに記載の組換え核酸分子によって、無血清条件下で懸濁培養中の細胞をトランスフェクトする工程を含む、請求項 9 ～ 16 のいずれか一項に記載の宿主細胞を生産する方法。

【請求項 18】

請求項 13 に記載の宿主細胞を生産する方法であって、

請求項 2 に記載の第 1 の組換え核酸分子と、配列番号 2 の核酸配列のコード領域、配列番号 2 の核酸配列のコード領域に対して少なくとも 85 % の配列同一性を有する核酸配列、および配列番号 3 に示される核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン (FSH) の鎖をコードする核酸配列を含む第 2 の組換え核酸分子とにより、無血清条件下で懸濁培養中の細胞をトランスフェクトさせる工程を含む方法。

【請求項 19】

ヒト組換え FSH の生産のための、配列番号 1 および配列番号 2 の少なくとも一方に記載の核酸配列の使用法。